

【柏尾川】

戸塚区柏尾町の阿久和川と平戸永谷川の合流点から藤沢市川名で境川本流に合流する約11.2km、流域面積は約84km²の二級河川。「風土記稿」はこの川を岡本以北を柏尾川、南を戸部川であるとする。

●**柏尾**:地名研究で「カシオ」は「山稜の斜面」を意味する。

【阿久和川】

源流は瀬谷区三ツ境付近。戸塚区矢部町を流れ、平戸永谷川と合流し柏尾川に。延長5.44km。流域面積14km²。

●**阿久和**:地名研究で、新羅の古語で水を意味する「アカ」に因むともいい、また「アク」は「川の流れの曲がった様」を意味するという。

【中丸家長屋門】

明治中期の竣工で、横浜市認定歴史的建造物(平成13年度認定)。横材(かぶ木)を二段に重ねて、部材を鳥居型に組む珍しい門構えの長屋門。

周辺は、阿久和川まほろばの川づくり:憩いのまほろば(平成12年竣工)他に、集いの、古えの、出合いの、ふれあいのまほろば。

【観音禅寺】(曹洞宗)

元和3年(1617)阿久和村の領主であった安藤治右衛門正次が、先祖の冥福を祈るために創建したといわれている。本尊の聖観世音菩薩立像は、33年に一度のご開帳を行う秘仏。山門の横には、俳号行々子の句碑、坂東・西国秩父観音百か所供養塔、鎌倉郡観音札所二十三番供養塔がある。

【和泉川】

瀬谷区瀬谷町付近を源(源流は「瀬谷市民の森」として、市西端の境川と並行して瀬谷区・泉区を南下、戸塚区俣野町で境川に合流。延長約11km。流域面積約11.5km²)

●**和泉**:イヅミは湧き出る水の意。古代村落や駅屋・駅路と関係する古い地名といい、和泉第六天社の南に「酒池」と呼ぶ池の水が美酒に変わったとの伝説にも因むとも云う。

●**和泉町**:横浜市内で一番広い面積(8.51914km²)。